

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第21号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



令和4年頭のご挨拶(剣道) (一財)長崎県剣道連盟 副会長 井流兼三

長崎県剣友の皆様、謹んで新年明けましておめでとう御座います。旧年中は新型コロナウイルス感染症の災いにより何かと皆様にご迷惑をおかけしたにも関わらず、本県剣道連盟に対しいろいろとご配慮とご協力を頂き心より厚くお礼申し上げます。皆様へのご案内のとおり剣道連盟の目的は県内剣道団体の総合的組織として剣道、居合道及び杖道の普及発展に必要な事業を行い、心身の健全な発達豊かな人間性の涵養と併せて県民体位の向上に寄与することであります。

さて一昨年以来コロナ禍により剣道界にも大きな衝撃をもたらしました。全国はもとより県内における各種大会行事の延期や中止など、過去に経験したことがないことであり、戸惑いばかりでありました。

剣道の稽古の基本である掛け声はマスク着装・面シールドで息苦しいものでしたが、今ではマスク使用も当たり前になりました。また、今後コロナ禍が終息し通常の剣道等の稽古に戻ることを期待して、「目的達成のために何をすべきか」ということを考える時にまずは「剣道人口減少に対する取り組み方をどう立ち向かうか」剣道連盟の未来永劫の懸案事項であります。少子化は世時の流れであり剣道少年の減少に歯止めをかけるべく取り組みます。昨年一年間の剣道連盟の動きは厳しいコロナ禍の中での事業の推進でしたが、関係者の皆様のご努力により、改めて新年に取組む所存ですので、旧年同様に宜しくご指導鞭撻をお願い致します。

○今回は普及委員会・強化委員会・審査審判委員会の3専門委員会の活動について報告いたします。他の専門委員会の皆様におかれましても日々、精進努力をされておりますことをお知らせ致します。最後になりましたが、令和4年が皆様にとりまして輝かしい年となりますようご健勝ご多幸を祈念致します。

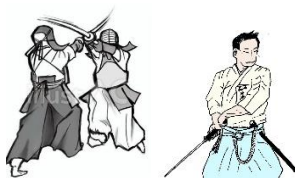
○普及委員会活動: 昨年は加盟団体長及び有志企業等に賛助していただき、富永和美委員長を中心に画期的なテレビ放映という広報活動を実施するなど粘り強く立ち向かいその成果の繋がりに期待しております。ご支援いただいた皆様にあらためて感謝いたします。

○強化委員会活動(試合結果): 片山倉則委員長を頂点としてコロナ禍の中、地道に強化訓練を活動された結果

全日本都道府県対抗剣道優勝大会	団体男女	3位	長崎県チーム
全日本学生選手権大会	個人	優勝	筑波大学 黒川雄大選手(島原高校出身)
全国高校総合体育大会	個人	2位	島原高校 生出琴華選手
第51回九州中学校剣道競技大会	団体男子	優勝	長崎南山中学校
全日本都道府県対抗居合道大会	五段の部	3位	畑中健佑

○審査審判委員会: 岡島正己委員長を中心に灰谷達明・山本昌克両八段の適格な指導助言等により、昨年は中央受審者講習会を実施し、下記のと通りの審査結果でした。

全日本剣道連盟中央審査合格者及び受審者数						
項 目	剣 道				居合道	
	七段	教士	六段	錬士	七段	教士
合 格 数	5	26	16	12	1	1
受審者数	33	26	29	12	5	1



春がやってきました・・立春(りっしゅん)の候>

今年の節分は2月3日(木)です。したがって、今年は2月4日(金)が立春となります。コロナ禍のなか、暦の上では春と言っても日本ではまだまだ寒い日が続いています。もともと立春を定めた二十四節気は、古代中国の黄河中・下流域の季節感が反映されています。その地域ではどうやら1月が最も寒く、2月から暖かくなっていくようなのです。そのことで2月に立春になると言われています。2月も寒い日本ですが「立春」と聞くだけでも春が確実に近づいてきた感じがして、少し気持ちは暖かくなってきます。コロナ禍のなか、剣道の稽古にも優しい季節が近づいてきています。このような時こそ自己研鑽を究めていきたいものです



写真: 白梅とメジロ

令和4年頭のご挨拶(杖道) (一財)長崎県剣道連盟 杖道部長 橋本幸一

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

今年も恒例の新春初稽古を、令和4年1月2日雲仙市の橋神社境内におきまして開催しました。当日は、好天にも恵まれ初詣の参拝者も昨年と比べたら随分と多く以前の賑わいを彷彿させるものでした。令和2年よりコロナの影響で杖道も大会等主な行事が出来ず残念な年月を過ごして参りました。今年は重点目標として女性並びに少年層への普及拡大を図って参りたいと考えています。

長崎県剣道連盟杖道部では『杖道』を通して社会に貢献することを目的に、社会のあらゆる場で我が国の伝統文化である武道を通じて社会人としての豊かな人間形成を目指すものであります。

コロナの感染拡大につきましては、今後の状況はまだまだ見通せませんが一日も早い収束を願いたいと思っています。

結びに、令和4年が皆様にとりまして実り多き年になりますように心よりお祈り申し上げます。今後とも杖道部へのご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



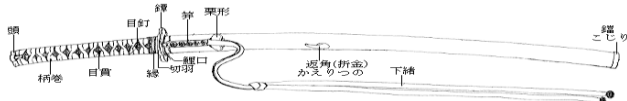
令和4年頭のご挨拶(居合道) (一財)長崎県剣道連盟 居合道部長 高木志伸

※※ 新しい風を吹き込む ※※

新しき年を迎え、皆様のご多幸とご清武を祈念いたします。長崎県剣道連盟居合道部は昨年一年間、居合道会員の団結、連携を強くできるように事業推進にあたっていました。これからも会員同士が共に学びあい「交剣知愛」の輪を広げたいと思います。また、令和4年・5年度の役員改選にあたり、女子居合道の普及、更なる発展を目指し、様々な情報収集や活動を目的として、新たに女性理事3名の任命を予定しております。女性ならではの視点から長崎県剣道連盟居合道部に「新しい風を吹き込む」ことを期待しています。若年層居合道の普及、更なる発展を目指し、様々な情報収集や活動を目的として若手理事3名の任命を予定しております。若手ならではの視点から長崎県剣道連盟居合道部に活気があり、全国でも活躍する選手育成や強化稽古会などの魅力ある居合道部のリーダーとして期待しています。

新型コロナ(オミクロン株)感染第6波による都道府県に発出された蔓延防止宣言も2月14日までとなり、まだまだ終息は難しい状況が続いています。新型コロナワクチン接種3回目がいち早くできることを祈りたいものです。この様な状況のなか、全剣連では「With コロナ、After コロナ」を掲げながら、事業をすすめています。長崎県剣道連盟居合道部でも、昨年の実績等を踏まえ、主催大会・審査会は、基本的に実施していく予定です。

日頃の稽古に対する熱い思いや、弛まぬ努力を続けたいものです。今年度も全日本剣道連盟並びに長崎県剣道連盟とより深く連携をとり、長崎県剣道連盟居合道部の活動が剣道の理念に沿ったものになるよう努めていきたいと考えておりますので、会員皆様の暖かいご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。それでは皆様にとって、最良の年になりますように祈念申し上げます。



おらが世や そらの草も 餅になる(小林一茶)・・・「雨水」(うすい) 2月18日

俳人小林一茶は雪解けが始まり春の訪れを詠った俳句に「おらが世や そらの草も 餅になる」とあります。現代語訳すると「春ともなれば、そこら辺に生えている蓬(ヨモギ)の若草を摘んで、草餅にして食べよう。有難い世になったものだなあ」という意味です。雨水は寒い冬の時期には雪が降っていたところから、雪ではなく雨に変わり、降り積もった雪が解け始めて水に変わり、草木が芽を出し始めるなどの意味があります。また、農耕の準備を始める気候になってきたという目安にもされていました。

雪解けが始まったことで地面が潤い、春一番も吹き、春の気配を感じ始めます。雨水の日は「雛人形を出す日」といわれることがあります。これは、雨水に雛人形を飾ると、その家の女の子は良縁に恵まれるという言い伝えがあるからです。雛祭り(桃の節句)の12日か13日前が雨水の日なので、雛人形を飾り始める目安としています。しかし、雨水と雛人形には直接の関係はありません。雨水の前の二十四節気である「立春」から飾ることもあります。それが早いと思うのであれば雨水の日から飾れば良いのです。一般には、雛祭りに近い大安の日から飾ることも多いので、雨水の日にとらわれずに臨機応変に行なって問題ないのです。春を目の前に剣道に厳しい季節であった冬がもうすぐ終わろうとしています。このような時期こそ剣道の稽古は基礎基本を大事に本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれないですね。



写真：椿 花言葉「誇り」



報告(3)・・・令和3年度全国高校選抜大会長崎県予選 優勝 男子 長崎南山 女子 西海学園

標記大会が令和4年1月16日(日)佐世保市東部スポーツ広場体育館で開催されました。男子は長崎南山高校が19年ぶり6度目、女子は西海学園高校が5年ぶり2度目の優勝を飾りました。両校は3月26日～28日に愛知県春日井市総合体育館で開催される全国選抜剣道大会の出場権を獲得しました。男子団体は決勝では長崎南山高校が昨年11月の県新人戦優勝に引き続き、19年ぶり6度目の優勝を飾りました。決勝戦では長崎南山高校の先鋒から大将まで引き分けとなり、両校一步も譲らずに代表戦となりました。代表戦では長崎南山高校の大将山口拓が島原高校の大将井上翔太のメンの動きに合わせてコテを決めて競り勝ちました。女子団体決勝は島原高校と西海学園高校の対戦も男子団体同様に代表戦となり、西海学園高校が島原高校を1－1の代表戦で下して5年ぶり2度目の優勝を飾り、春の代表権を獲得しました。西海学園の大将益田佳奈が0－1から大将戦で追いつき、代表戦も島原高校の大将永井萌に鮮やかなメンを決めました。西海学園高校は前回出場した選抜大会では2回戦進出しましたが、惜しくも敗れました。今大会では全国トップレベルの島原高校女子を破っての長崎県代表となり、全国選抜剣道大会でも上位進出をじゅうぶんに狙うことのできる実力のあるチームになってきています。

(令和3年度全国高校選抜大会長崎県予選 結果詳細は県剣連ホームページに掲載)

		
男子優勝 長崎南山高校 19年ぶり6回目	女子優勝 西海学園高校 5年ぶり2回目	決勝 益田選手(西海学園) 永井選手(島原)

【男子団体戦】参加校 24校

優勝	長崎南山高校
準優勝	島原高校
3位	瓊浦高校
3位	西陵高校

【女子団体戦】参加校 15校

優勝	西海学園高校
準優勝	島原高校
3位	西陵高校
3位	向陽高校

女子			男子		
最優秀選手	益田 佳奈	西海学園高校	最優秀選手	山口 拓	長崎南山高校
優秀選手	福田 彩音	西海学園高校	優秀選手	富田 悠仁	長崎南山高校
優秀選手	嵯田 有亜	島原高校	優秀選手	井上 翔太	島原高校
優秀選手	小山 結衣	西陵高校	優秀選手	酒井 稜真	瓊浦高校
優秀選手	今里 優	向陽高校	優秀選手	三木皓一郎	西陵高校

【男子団体決勝戦】 長崎南山高校 19年ぶり6回目の優勝 (4年ぶり7回目の出場)

	長崎南山高校	○ ①	—	0 ×	島原高校
先鋒	水口 快	□	—	□	平吹 侑也
次鋒	平山 修資	□	—	□	西山 晴貴
中堅	富田 悠仁	□	—	□	長崎 祥太郎
副将	戸田 優人	□	—	□	小柳 宏成
大将	山口 拓	□	—	□	井上 翔太
代表	山口 拓	○ ㇿ	—	×	井上 翔太

【女子団体決勝戦】 西海学園高校 5年ぶり2回目の優勝

	西海学園高校	○ ①	—	1 ×	島原高校
先鋒	福田 彩音	□	—	□	福園 楓音
次鋒	大渡 紗愛	×	—	○	嵯田 有亜
中堅	橋口日向奈	□	—	□	森川 紗那
副将	葉山 琉菜	□	—	□	寺川 舞
大将	益田 佳奈	○ ㇿ	—	×	永井 萌
代表	益田 佳奈	○ ㇿ	—	×	永井 萌

道場からの便り「道場紹介」(7)・・・生月剣道スポーツ少年団(平戸市)

文責：生月剣道スポーツ少年団 藤田親央

生月剣道スポーツ少年団は、昭和33年に青少年健全育成を図るため、当時の生月町がスポーツ少年団の育成に力を注がれました。その翌年に生月小学校の児童を対象として、外山武男先生や山浦福儀先生のお力添えで生月剣道スポーツ少年団が結成されました。

その後、昭和44年に長崎県スポーツ少年団及び日本スポーツ少年団に登録しており、昭和47年からは濱崎壽利先生を代表指導者として令和2年6月まで長きにわたり指導されました。

当時は、離島というハンデから中々大会に出場する機会も少なく、年に1度だけ長崎市内の大会に出場するのを楽しみに稽古していた様です。その後、待望の生月大橋が平成3年に架橋し、大会に出場する機会も多くなり、最盛期には小学生のみで団員数60名という大きな団体となり、平成26年に長崎県剣道道場連盟に加入し、全国大会出場に向け、日々稽古に励んでいます。

少年団結成から61年が経過し、数多くの門下生を有し、県内外の高校、大学へと羽ばたき、剣道界のみならず現代社会へ通ずる門下生を数多く輩出し、活躍されています。

藤田親央先生(錬士六段)を指導の柱として、現在20名の小学生と共に、先人からの教えである剣道の修練を通じて日本人の特性である礼節を重んじ、相手を敬う感謝する心の習得を指導の基本として、将来社会に役立つ人材の育成と錬成に努めています。稽古は基本を忠実に勿論厳しくしますが、終了後は笑顔で楽しく帰宅することを心がけ、春レクとして近隣の農場をお借りしたいちご狩り体験や夏には稽古終了後のプール遊び、地元で開催されるツーデーウォークやロードレース大会開催前のごみ拾い奉仕作業、クリスマス会や競開きでのお楽しみ抽選会、お別れ会時には入部してから卒業するまでの間、子どもたちがここにいた足跡として、これからも忘れることのないよう大会時やイベントの画像や動画を編集したDVDを毎年送るなど指導者、OB、OG、団員、保護者が一体となって、生月剣道スポーツ少年団を盛り上げています。これからも先人の先生方に感謝と敬意を表しながら一丸となって精進して参ります。

◇道場訓： 剣は心なり
心正しからざれば
剣また正しからず
剣は和なり
憎む心あるべからず

(島田虎之助氏の言葉を子どもたちが理解できるようにアレンジしたものであり、先人の先生方が作成されたのではないかと推測します。)

◇稽古日時：火曜日・木曜日(17:00～19:00)、金曜日(16:30～18:00)、土曜日(10:00～12:30) 高学年のみ

◇稽古場所：生月小学校体育館

◇指導者：藤田 親央(錬士六段)

濱崎 誠(六段) 小揚 美智江 増山 剣 岳下 政則

◇お問合せ：藤田 親央 ☎090-9657-7456



昭和54年当時の部員、社会体育施設完成時の集合写真



現在の生月剣道スポーツ少年団の級位審査で昇級した集合写真



令和2年度平戸市剣道協会長杯少年剣道大会団体優勝



面用手ぬぐい 創部当時～現在まで

道場からの便り「道場紹介」(8)・・・不二剣道錬成館(佐世保市)

1. 創立

1975年(昭和51年)「文武不岐」を唱える剣道の道場「不二剣道錬成館」が産声をあげ、令和3年には創立46年を迎えました。佐世保市八幡町(佐世保北高グラウンド前)に故池田一先生(剣道範士八段)と故中間長行先生(剣道教士七段)によって青少年健全育成を目的に創立しました。

2. 印象に残るエピソード

- 1) 第1回宮本武蔵顕彰全国大会優勝、大麻旗少年剣道大会優勝、全日本道場連盟少年剣道大会上位進出など長崎県内外の大会に出場し、優秀な成績を収めました。最近では全日本道場連盟少年剣道大会長崎県予選小学生団体、個人優勝などの戦績を記録しました。
- 2) 全国大会個人で活躍した山本健太、藤山光治、鎌田将史、副島大樹、北浦裕介などがある。また、全日本剣道選手権出場者には藤山光治、北浦裕介などがある。

3. 指導方針、道場訓ほか

1) 指導方針

①礼儀(道場内外を問わず)を重んじ、正しい着装。②基本動作は忠実に、③集中力の維持と素早く出せる技の研鑽

2) 三誓願

①勉強します。②剣道します。③よい行いをします。

3) 道場旗「明鏡止水」

研ぎすました鏡の如く、また、静止清澄の水の如く澄み切って、どんな小さなものをも心に映す心境のこと。剣道では相手の動きをこの浄玻璃(ぎやまん)に映して直に対応しなければなりません。心にさざ波が立てば相手の動きをとらえることはできません。したがって剣道ではこの清澄の心境を「明鏡止水」と称して尊んでいます。

4. 道場の特色

師範の馬場修先生(剣道教士七段)を中心に、多数の先生方が指導にあたり、基本稽古を中心に切り返しやかかり稽古に多くの時間をかけています。さらに初心者から中学生まで熱心な指導が行われています。長崎県内外の大会に積極的に出場し、優秀な成績を収めています。



5. 指導者、保護者会等(令和3年度)

- (1) 指導者 師範: 馬場修(剣道教士七段)、小野章、高木志伸
- (2) 補助指導者 三宅泰志、吉田祐朗、馬場憲志郎
- (3) 育成会 会長: 三宅泰志
- (4) 連絡先 馬場修: 〒857-0028 佐世保市八幡町 5-31 電話&FAX 0956-23-2422

6. 稽古日時、場所

佐世保市八幡町 5-31 不二剣道錬成館道場: 火・木曜日 17~19時、土曜日 16~18時、初心者から中学生を対象

		
創立45周年記念大会集合写真	記念大会小学生低学年の部	コロナ禍のなかでも初心者は元気です。
		
記念大会 風船割でも真剣!!	道場はアポロンの坂(佐世保北高校の前)	長崎県道場連盟少年剣道大会 小学生優勝